

県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町55番地
交通ビル3階

TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp

核兵器のない世界を目指して 核廃絶実現いまこそ

2023年国民平和大行進

2023年原水爆禁止国民平和大行進の東京→広島コースがスタートし5月19日に湯河原町役場近くの広崎公園にて、神奈川県からの引継ぎ集会が行われました。13日間県内各地をまわり、5月31日、愛知県へ引き継ぎました。「平和行進」は、核兵器も戦争もない平和で公正な世界の実現を訴え、被爆国日本の国民の声を世界に届ける活動で、コロナ禍で東京から広島までの通し行進は4年ぶりとなります。

今年の平和行進が静岡入りした19日から21日まで被爆地である広島ではG7サミット（主要7カ国首脳会議）が開催されています。G7首脳は、19日、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」を発表しました。「核兵器のない世界」を言葉では述べていますが、それは「究極の目標」と位置づけられ、永久に先送りされています。何より重大なことは、核兵器は「侵略を抑制し、戦争と威圧を防止する」と「核抑止力」論を公然と宣言していることです。「核抑止力」論は、いざという時は、核兵器を使用し、広島・長崎のような非人道的惨禍を引き起こすことをためらわない議論です。こうした立場を被爆地から発信したことは、被爆者や被爆地を愚弄するものであり、決して許されることではありません。「広島ビジョン」は、広島・長崎が「非人道的な苦難」を経験したという歴史的事実に触れていますが、核兵器そのものが非人道的な兵器であるという批判や告発は一言ものべていません。NPT（核不拡散条約）第6条にもとづく「自国核兵器の完全廃絶への明確な約束」（2000年、NPT再検討会議の最終文書）など、核兵器国の核廃絶への義務を果たすことについても、一言ものべていません。こうした中で静岡県内の平和行進は、反核平和と核兵器廃止条約への批准を訴えて行進する内容で参加者一人ひとりの思いを胸に真に平和を願う市民へ訴える行動です。



静岡市清水区を元気に歩く村上さん（中央）ら行進者=24日

沼津市平和行進（市役所から今沢基地）
21日、沼津市役所1階ピロティで出発集会を行いました。沼津市長のメッセージの紹介と清水町・長泉町もあわせた「反核平和自治体のペナント」の披露がありました。その後、横断幕やのぼり旗、プラカードを

から発信したことは、被爆者や被爆地を愚弄するものであり、決して許されることではありません。「広島ビジョン」は、広島・長崎が「非人道的な苦難」を経験したという歴史的事実に触れていますが、核兵器そのものが非人道的な兵器であるという批判や告発は一言ものべていません。NPT（核不拡散条約）第6条にもとづく「自国核兵器の完全廃絶への明確な約束」（2000年、NPT再検討会議の最終文書）など、核兵器国の核廃絶への義務を果たすことについても、一言ものべていません。こうした中で静岡県内の平和行進は、反核平和と核兵器廃止条約への批准を訴えて行進する内容で参加者一人ひとりの思いを胸に真に平和を願う市民へ訴える行動です。



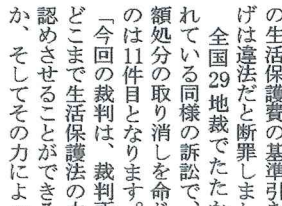
青葉公園での終結集会の模様

あつ青葉公園にて終結集会が開催されました。集会で菊池県評議長は「静岡自治労連では昨年ウクライナからの避難民に関き取り調査・懇談を実施した。避難民の方が『日本は、第二次世界大戦や原爆投下を経験し戦争をしてはいけないという心が長く刻み込まれていると思います。幅広い人道支援をお願いしたい。そして日本は核抑止としてアメリカの核を保有すると言っ



舞阪協働センターに到着

ていたが、唯一の被爆国として核保有はやってはいけない。核戦争はなんとしても防ぐという意志を日本には貫いてほしい」と話していました。憲法9条・非核三原則は世界に知られている輝かしい宝です。日本政府も核兵器禁止条約を署名して核兵器をなくす先頭に立つべきであり、労働組合としてそのことを強く訴えて行きたい」と挨拶しました。



静岡地裁へ駆け付けた支援の方々

静岡、掛川、袋井、浜松各市に住む生活保護利用者の6人が、生活保護基準の引き下げは生活保護法に違反しているとして、各市に減額処分の取り消しを求めた訴訟の判決が30日、静岡地裁でありました。菊池地裁判決は、原告の訴えを認め、2013年から生活保護費の基準引き下げは違法だと断罪しました。全国29地裁でたまたわられている同様の訴訟で、減額処分の取り消しを命じたのは11件目となります。

「今回の裁判は、裁判所にここまで生活保護法の力を認めさせることができるのか、そしてその力によって

原告一人ひとりの権利を守るにできるのか。憲法と生活保護法によって、一人ひとりのいのちと健康を守る闘い」と笹沼弘志教授（静岡大学憲法学者）は、言いました。判決では、2008年以降の物価下落による「デフレ調整」による引き下げは、統計などの客観的数値などとの合理的関連性を欠き、専門的知見との整合性がなく、と言わざるを得ないもので違法だとしました。大橋昭夫弁護士は「原告、支援者が力を結集した民衆の勝利だ」と強調。生存権が書かれた憲法25条に基づき、政治の力で、生活できない人を1人でもなくしていくことが必要だと訴えました。原告団長の山本定男さんは「原告になってから一番うれい。頑張ってきたよかったです。心から思っています」と、喜びと支援者への感謝を述べました。原告2人も涙を流し、言葉を詰まらせながら喜びを語りました。

掲げ市役所からJR沼津駅前までパレードを行い、駅南口でのスタンディングでは、日本政府の「核兵器禁止条約」の批准を訴えました。その後ふたたび、JR片浜駅から今沢基地までパレードしました。今沢基地での終結集会で山崎委員長が今沢基地の歴史と米軍基地として常態化について報告しました。

（浜北・浜松基地・東海道）
29日、浜北コース、浜松基地コース、東海道コースの3コースで平和行進をし、浜松市役所で昼休み集会を行いました。浜松市長・議長・区長さんからのペナントが渡され、中区长日本共産党市議団が激励の挨拶をしました。通し行進者の村上さん（広島新婦人）は「4年前に通し行進者に申し込んだがコロナ禍で今年ようやく実現しました。父親が広島で被爆し、私は被爆2世です。熱い思いで平和行進に参加しました。岸田首相はG7サミットで、核兵器廃絶については触れなかったが、非常に残念だ」と述べました。

30日に高塚から舞阪まで、沼津駅から湖西市役所まで行進し、愛知県に引き継ぎました。

生活保護基準の切り下げ違反裁判
生活保護基準の切り下げ違反裁判



今沢基地での集結集会の模様

た。JR各社は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収となり苦しい経営状況が続き、効率化・機械化等が急激に進んでいます。全国的には赤字ローカル線問題がクローズアップされ全国の鉄道網維持が重大な局面に入っています。すべての国民が自由に移動する権利が危ぶまれています。国民が平等に安全・サービスを受け、移動する権利を守り、発展させるためにも全国の鉄道網の存続は重要です。利用者アンケートで利用者・地域住民の要望・意見を集約し、中部運輸局へ要請等を行うことで鉄道の安全とサービスの充実を求めていきたいと考えています。利用者アンケートへのご協力をお願いします。右のQRコードから回答願います。

JR利用者アンケートにご協力を!

JR各社は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減収となり苦しい経営状況が続き、効率化・機械化等が急激に進んでいます。全国的には赤字ローカル線問題がクローズアップされ全国の鉄道網維持が重大な局面に入っています。すべての国民が自由に移動する権利が危ぶまれています。国民が平等に安全・サービスを受け、移動する権利を守り、発展させるためにも全国の鉄道網の存続は重要です。利用者アンケートで利用者・地域住民の要望・意見を集約し、中部運輸局へ要請等を行うことで鉄道の安全とサービスの充実を求めていきたいと考えています。利用者アンケートへのご協力をお願いします。右のQRコードから回答願います。



格差のない社会めざして みんなで手をつなぎ声をあげよう

第31回 パート・派遣など非正規ではたらくなかまの 全国交流集会in神奈川

「第31回パート・派遣など非正規ではたらくなかまの全国交流集会in神奈川」が6月3日4日にかけて横浜市内で開催されました。3日はコデーネーターに松元千枝さんを迎え「多様な働き方の実態」と題したシンポジウムを行い、4日は、3会場で15の分科会を行いました。集会では、今の非正規労働者の置かれている状況を報告し、均等待遇の実現をめざした運動の教訓や課題を交流しました。

主催者挨拶した非正規セクターの柳恵美子代表は、「31回を数える集会是、あらゆる職種で働く非正規の人たちと交流し、職場や社会を愛する力となつていく。共感を大事に運動をさらに深めよう」と訴えました。基調報告した中野智事務局長は、非正規問題の根底にあるジェンダー差別をつかむことが均等待遇実現を迫る力になると強調。最も



柳恵美子代表の立場から置かれた現状を語り、非正規労働組合に加入し困難を乗り越えていくことを呼びかけた。



東京医労連Ti-Mu美麗女によるオーブンニング企画のサイチン音頭

低賃金全国一律1500円以上▽直接・無期こそ雇用原則▽フリーランス、移住労働者の権利保障などのたかひを提議しました。1日目のシンポジウムでは、販売店で働く方や神奈川県内の学校用務員の方また外国人労働者の生活支援活動を行う方や出版業界で働くフリーランスや主婦で短時間パートの方など5名の非正規で働くパネリストが登場。それぞれ

浜岡原発停止 12周年行動 原発なくす会

中部電力が政府からの要請により、浜岡原発を停止してから12年目の節目

静岡県労働研究所 No.82



5月18日、定例研究会が開催されました。「国連障害者権利委員会総括

障害のある人と ない人が 共に暮らす

所見の意義と当事者をめぐる実態」と題して、磯野博氏が報告しました。障害者権利条約では、障害のある人々と障害のない人々が共に暮らし、学び、働く「インクルー

政府代表団から約30名、国会議員、障害者NGOから約100名が参加しました。障害者権利委員会と日本政府とのやり取りは、終始、話が噛み合

8月15日から9月9日までの間、ジュネーブの国連事務局において障害者権利委員会が開かれ、日本政府の建設的対話（対日審査）が行われました。

9月2日、国連障害者権利委員会は、日本政府に対する総括所見（勧告）を採択しました。「障害者の強制入院による自由の剥奪を認めるすべての



青葉公園での街頭宣伝

法的規定を廃止すること」「すべての障害児の普通学校への通学を保障し、普通学校が障害児の入学を拒否することを許さな



5月21日静岡市清水区において第60回静岡県母親大会が開催されました。親大会が開催されました。弁護士よりアクティビスト

欠だった福島での地方公聴会も開かず、国民的議論がなされず、憲法とは断じて許されません。第1原発の施設そのものも原子炉内の深刻な実態

5月21日静岡県清水区において第60回静岡県母親大会が開催されました。親大会が開催されました。弁護士よりアクティビスト

職場の安全衛生を実現するために 静岡県安全健康センター No.94

消化器系の 疾患で労災認定

富士市の電気設備工事会社に勤める当時62歳の男性が、出血性胃潰瘍で死亡。長時間労働などが原因として富士労働基準監督署が労災と認定しました。消化器系の病気で労災が認められるのは異例。

「過労死等」として現場責任者を務めていた。2021年の12月に自宅で倒れ、搬送先の病院で出血性胃潰瘍により死亡しました。男性の時間外労働は、死亡前の直近1か月がおよそ122時間、その前の1か月がおよそ113時間。富士労働基準監督署は、男性の死亡は、現場責任者と